

出島用水支線保

全会広報

令和4年12月

出島用水支線保全会（以下保全会）は再認定後2年目の定例総会を7月17日、新生集落コミュニティーセンターにて開催しました。コロナ渦のため前回と同じく書面にて開催されました。

会員総数	248名
本人出席者	17名
書面議決出席者	223名
出席者計	240名
欠席者	8名

議長	額田 源衛
書記	中村 祐江
議事録署名人	田中 明人 殿岡 真一

議事

- 1号議案 令和3年度事業報告及び決算の承認について・・・全員賛成可決
- 2号議案 令和4年度事業計画及び予算の承認について・・・全員賛成可決

各地区の推進員に若干変更がありました。詳細は総会資料をご覧ください。

農地維持・資源向上（共同）交付額6,305,760円については各地区で点検や機能診断を行い検討打ち合わせの上、計画実行をお願いします。

資源向上交付金（長寿命化）については、交付金が満額交付されません（今年度は58%）交付額3,352,580円、11月の幹事会において検討した結果、西成井地区U字構交換50万円、鹿野山用水の土留50万、荻平VU管布設60万、新生3用水路土留120万円と予定工費の約半分を割り当て実施することになりました。

全てを業者に任せる外注方式と、業者に工事の全てを任せるのではなく地区の会員がすべてを行うかまたは工事箇所の下草刈など出来ることを一部行って工事を進めるなどによる直営施工方式があり、国では後者の直営施工方式を薦めております。全部を外注でお任せではなく会員が工事の一部を担いコストを下げるこ

が目的と考えられます。また、持ち寄った工事計画で費用的に軽微なものは、農地維持（共同活動）交付金を利用して進めます。

環境（水質）のモニタリング



環境保全活動として継続的に霞ヶ浦の水質モニタリングを行っています。初年度（29年度）より今年度までの7年の間 COD

（化学的酸素要求量）の値が5となり変化は見られませんでした。

農村環境保全活動（マリーゴールドの植え付）



農村環境保全活動（パンジーの植え付）



保全会活動では環境保全活動（景観）として新生道路沿いの花壇4か所で、春にはマリーゴールド、今年度は秋にもパンジーを植栽しています。

用排水路泥上げ草刈り

4月17日西成井下宿横町地区の農地維持・共同活動として点検、用排水路の清掃・泥上げ・草刈および打



ち合わせを17名の参加で行われました。



用水路の掃除と藻上げ

昨年同様に7、8月は用水路に藻が大量発生して用

水が末端までスムーズに流れないため藻上げ作業等による水路の掃除を行いました。

新生3、10班から15班



新生1(1~4班)



新生3地区用水路パイプの交換

新生3地区11班では農地維持の共同活動として古くなったライト管パイプをVU管200mmに交換しました。

